

日本船主協会、韓国船主協会と人材交流プログラムに関する覚書を締結
～両船協の協力関係、一層深化へ～

当協会は友田副会長立ち合いの下、森重理事長と韓国船主協会ヤン・チャンゴ副会長の間で事務局職員の人事交流プログラムに関する覚書に署名・交換しました。両船協はこれまでも相互理解促進等を目的に、事務局職員を定期的に相互派遣してきましたが、コロナ禍の影響により中断を余儀なくされてきました。今回覚書を締結することで、同プログラム再開にあたりその目的を改めて明確にし、両船協の協力関係を深化させていくことを相互確認したものです。

署名式では、当協会が韓国船主協会の来訪に歓迎の意を表し、友田副会長からは、海運業界が環境規制強化や AI 等の技術革新といった大きな流れに直面する中で、隣国である両船協間の協力関係の深化とともに次世代の育成が今後益々重要になるところ、本覚書締結の意義を強調しました。これに対してヤン副会長も人事交流を通じて当協会と様々な分野で協力していくことを期待する旨の発言がありました。



写真：左からヤン副会長、友田副会長、森重理事長



写真：左から伊藤部長、キム理事、ヤン副会長、友田副会長、森重理事長、リー一副部長